



前号では、労働者協同組合法の制定に向けた取り組みが加速しており、今通常国会での成立が期待されると報告させていただいた。国会は、新型コロナウイルスへの対策などに時間を費やし、あっという間に一か月が経過してしまっただが、ついに6月12日(金)13時、全党・全会派の賛同を得て労働者協同組合法案が衆議院に提出され、受理された。6月17日(水)が今通常国会の会期末であることから、法案審議は次期国会に持ち越しとなることだが、労協連、そして協同総研にとって悲願とも言える法制化がいよいよ実現しようとしている。

全党が合意している法案であることから、委員長提案により短期間で法律を成立させることも不可能ではなかったようだが、本則137条・附則34条という大部の組織法であることから、厚生労働委員会で審議をおこない、法案提出に至った経緯や社会的な必要性についてきちんと議事録に残して成立を期すことになった。

一寸先は闇、何が起るかわからないのが政治の世界ではあるが、根拠法が無い中でこれまで労働者協同組合の実践を積み重ねてきた当事者の意向が反映された今法案に対して、大きな反対意見も出されることなく、全党・全会派からの賛同をいただき、法案提出まで漕ぎつけたことは、与党ワーキングチームをはじめ法制定に向けてご尽力いただいた国会議員の方々の熱意によるところが大きい。

期せずして、新型コロナウイルスの感染

拡大の影響により、地域経済は大打撃を受け、大倒産・大失業時代の到来が危惧される。後継者不在に悩む中小企業の廃業も加速されることだろう。多くの議員の方々から本法律の制定を後押ししてくださったのは、ポストコロナ社会を考えたときに、労働者協同組合が疲弊した地域社会を支える重要な役割を担うことを期待したからではないだろうか。本法律を活用して働く者自身が事業を受け継ぎ、企業の再生をめざす「ワーカーズ・バイアウト」の仕組みもにわかにも注目されるようになっている。

そして、今回の法制定運動に大きな力を与えてくれたのが、様々な立場からの応援であった。協同組合、労働組合関連の皆さん、障害者の当事者運動を推進してきた方たち、自らの組織をワーカーズコープへと移行したい方、新たにワーカーズコープの設立をめざす方、そして研究者の皆さんなど。このことは、労働者協同組合がすでに私たち労協連の所有物ではなく、新しい社会の創造をめざす多様な立場の人々が自らの夢や希望を託す共有物となっていることを示している。

まだ法律が成立したわけではなく、ぬか喜びにならないように気を引き締めなければいけないが、これほど多種多様な方々から賛同いただけたことは大きな自信になる。1日でも早く法制定を実現し、この法律を活用した新しい社会づくりに向けて、皆さんと共に歩みを進めていきたいと思う。

2020年6月12日

労働者協同組合法案の衆議院提出をうけて

本日、労働者協同組合法案が全党・全会派の賛同（提出者 15 名、賛同者 53 名）を以て衆議院に提出・受理されました。

法案の取りまとめ並びに提出にご尽力いただいた全ての関係者の皆様に、深く御礼申し上げます。

今回提出された法案は、私たちが望む内容が網羅され、これに強く賛同するとともに、一刻も早い制定を強く望みます。

私たちは、1986年から労働者協同組合を志向し実践してきました。様々な試行錯誤を繰り返し、協同の力で仕事と職場を地域の中で作り出し、15,000人を超える仲間が働き、約330億円の仕事を担う実態をつくり上げてきました。その歩みの中で、「人間らしく働く」ことを土台に、「協同の関係」が必要不可欠であることを強く認識し、その成果を社会全体で共有するために、約20年間にわたり法制化運動に取り組んで参りました。

「働く」ことは報酬を得るにとどまらず、他者とともにお互いを活かし合い、チームワークによって仕事をなし、心地よさを手にする営みでもあります。職場がコミュニティとなり、学び合い育ち合いながら働くことで、社会に必要とされ意味ある仕事を生み出し広げる、文化的な基盤となります。こうした職場から発した「仕事」は、単に売り買いの対象ではなく、関わる全ての人々の「協同の関係」によって、よりよく意味あるものになります。

社会は今、新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした、様々な不安と危機が覆っています。その中で、人々が分断され対立しあうのではなく、「協同の関係」の再構築によって生存の基盤を取り戻し、持続可能で活力ある地域を実現していく上で、労働者協同組合法は重要な意味を持つと確信しています。

働くことを人間的で創造的な営みに高め、全ての人々が働くことを通して豊かさと幸福感が得られ、社会全体が持続可能に発展することを念じ、その一助となる労働者協同組合法が、国会での実りある議論を通して一刻も早く制定されることを強く切望します。

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会
理事長 古村伸宏



2020年6月12日

労働者協同組合法案 提出者・賛同者名簿

提出者

田村憲久 後藤茂之 平口洋
 西村智奈美 大河原雅子 篠原孝 岡本充功 中島克仁 吉川元
 柵屋敬悟 高木美智代 古屋範子
 宮本徹
 足立康史
 井上一徳

(15名)

賛成者

あべ俊子 畦元将吾 安藤高夫 泉田裕彦 上野宏史 大岡敏孝
 大串正樹 大隈和英 河村建夫 木村哲也 国光あやの 小林鷹之
 古賀篤 後藤田正純 佐藤明男 塩崎恭久 繁本護 白須賀貴樹
 新谷正義 高橋ひなこ 谷川とお 富岡勉 長尾敬 船橋利実
 細田博之 堀内詔子 三ッ林裕巳 山田美樹 吉川赳
 阿部知子 稲富修二 小川淳也 尾辻かな子 岡本あき子 黒岩宇洋
 下条みつ 白石洋一 武内則男 手塚仁雄 日吉雄太 牧義夫
 山井和則 山花郁夫 柚木道義
 伊佐進一 太田昭宏 岡本三成 佐藤茂樹 佐藤英道
 塩川鉄也 高橋千鶴子
 井上英孝 藤田文武

(53名)

訂正とお詫び

当誌330号(2020.5)「労働者協同組合運動から労働者協同組合法ができる」の田嶋康利さん報告「労働者協同組合法の概要・ポイント・経過」で、誤植がありましたので、訂正をさせていただきます。

P.18右段5行目「2016年1月」→「2016年2月16日」

P.18右段10行目「同年5月」→「2017年3月」

事実と異なる情報を掲載し関係者の皆さんにご迷惑をおかけしましたこと、誠に申し訳ありませんでした。読者の皆さんにはご訂正をお願い致します。

(協同総合研究所 事務局)

研究所活動日誌 (2020.5.16~6.15)

5月

- 16日(土) センター事業団新所長WEB研修、未来人財部部会
- 18日(月) 本部WEBシンポジオン
- 19日(火) 埼玉大学寄附講座打ち合わせ
- 21日(木) 千葉大学寄附講座第2回打ち合わせ
- 22日(金) 日本社会連帯機構理事会
- 23日(土) 第4回 協同総合研究所 理事会
- 25日(月) 協同の発見誌6月号取材(狭山市水野児童館)、協同組合学会常任理事会
- 26日(火) 協同の発見誌6月号WEB取材(富山ぼびー、労協ながの)、社会的企業研究会WEB打ち合わせ
- 27日(水) 青山学院大学香川秀太ゼミWEB出講打ち合わせ、IT×協同労働打ち合わせ
- 28日(木) 労協連 理事会
- 29日(金) センター事業団 理事会、Emi-DoさんとWEB会議(ワーカーズコープ設立相談)
- 30日(土) センター事業団東京三多摩山梨事業本部総代会議、センター事業団東京北部総代会議、協同の発見誌6月号取材(いたばし生活仕事サポートセンター)

6月

- 1日(月) 協同の発見誌6月号取材(城南信用金庫吉原毅さん×古村さん)
- 2日(火) 労協連合同5役会議、千葉大学ワーカーズコープ寄附講座(第1回・第2回收録)
- 3日(水) センター事業団本部全組員会議(議案討議)
- 4日(木) 青山学院大学香川秀太ゼミWEB出講(伊藤剛、相良)、社会的企業研究会100回記念本打ち合わせ、センター事業団東京中央事業本部ICT検討会、協同の発見誌6月号取材(いたばし生活仕事サポートセンター)

- 5日(金) 協同総研事務局会議、日本協同組合学会理事会
- 8日(月) 未来人財部部会、埼玉大学寄附講座打合せ
- 9日(火) センター事業団全国事務局員候補採用面談
- 10日(水) 協同の発見誌6月号取材(いたばし生活仕事サポートセンター)、日本の社会的連帯経済ポータルサイト会議
- 11日(木) 日本社会連帯機構事務局会議、青山学院大学香川秀太ゼミWEB出講(伊藤剛、相良)、JA全中教育企画課田村政司課長、元農水大臣山田正彦さん等と懇談、センター事業団東京中央ICT会議
- 12日(金) 雇用調整助成金教育訓練講座「協同労働の仕事おこし」出講(相良)
- 13日(土) 法政大学大学院連帯社会インスティテュート出講(相良)

今後の活動予定 (2020.6.16~7.30)

※コロナウィルスの影響で、予定が変更する場合があります。

6月

- 16日(火) 協同総研総会運営事務局会議
- 17日(水) 協同組合関係研究所等交流会実行委員会WEB会議
- 18日(木) 労協連、センター事業団 理事会WEB
- 19-20日(金-土) 日本労協連総会WEB
- 20-21日(土-日) センター事業団総代会WEB
- 22日(月) 社会的企業研究会運営委員会
- 25日(木) 青山学院大学香川秀太ゼミWEB出講(伊藤剛、相良)、埼玉大学寄附講座打合せ
- 27日(土) 協同総合研究所 総会WEB
- 29日(月) 本部シンポジオン
- 30日(火) 千葉大学ワーカーズコープ寄附講座第3回、第4回收録日

7月

- 1日(水) 山梨県立大学『就労支援論』出講(相良)
- 2日(木) 社会的企業研究会100回記念本打ち合わせ
- 6日(月) 協同総研事務局会議
- 7日(火) 労協連合同5役会議、センター事業団臨時本部長・事務局長会議
- 8日(水) 山梨県立大学『就労支援論』出講(相良)
- 9日(木) 未来人財部部会
- 10日(金) 労協連理事会
- 16-17日(木-金) センター事業団全国所長会議
- 20日(月) 千葉大学ワーカーズコープ寄附講座第5回、第6回收録日
- 30日(木) 社会的企業研究会運営委員会

協同の発見誌活用プロジェクト

「協同」

の

実践・研究の宝庫

今、知りたい情報と問いたいテーマがここに!!

一般社団法人 協同総合研究所

特別価格
1冊 1,000円
販売中!!

会員募集中!!

■年会費：個人会員／購読会員 12,000円

学生・障がい者 6,000円

団体会員 30,000円

■会員サービス：会員の方は、総会への参加(年1回)及び下記のサービスが受けられます

- ・所報『協同の発見』誌(毎月1回)の会員価格適用での頒布
- ・各種研究会への参加費の会員価格適用
- ・書籍購入の際の会員価格適用

【購入申込書】



完成しました！

ワーカーズコース 協同ではたらくガイドブック －入門編－

特徴

- ✓ ワーカーズコースを知らない人にも分かりやすい構成
- ✓ 実践している人の声を掲載し、働き方をイメージできるように
- ✓ 「立ち上げプロセス」では、手順やチェックポイントで詳細を解説

Contents

第1部 ワーカーズコープで働く

私たち協同労働やっています！/私たちは協同労働で挑戦する/協同労働 ワーカーズコープが発見した新しい働き方とは？/リーダーたちの本音トーク/協同労働への期待

第2部 ワーカーズコープを立ち上げる

ワーカーズコープ立ち上げプロセス/よい仕事のための心がけ/はじめるまえに知りたい協同労働Q&A/仕事おこし実践事例/海外事例 スペインにおけるワーカーズコープ

〈資料〉「労働者協同組合」の法制化/連絡先一覧/協同総合福祉拠点/協同労働の協同組合の原則/むすびに

“

わたしたちが暮らす地域で、わたしたちに必要な仕事を、わたしたち自身がおこす。ワーカーズコープが実践するのは、そんな「働きがい」「生きがい」を育てる新しい働き方。－「はじめに」より

”

2019年9月30日発行

発行・制作 一般社団法人 協同総合研究所

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）

ご注文FAX番号 03-6907-8034

下記の**太枠**に必要事項をご記入の上、協同総合研究所にお送りください。

ワーカーズコース
協同ではたらくガイドブック－入門編－

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）



ご注文コード
こちらのコードから
ご注文いただけます。

ふりがな ご氏名	購入部数	部
所属先		
送付先 〒 -		
電話番号 - -	メールアドレス	

一般社団法人 協同総合研究所

TEL: 03-6907-8033

E-mail: kyodoken@roukyou.gr.jp

※お名前、ご住所などの個人情報の記入欄を設けてありますが、個人情報は書籍の発送・請求以外の目的に使用することはありません。また、ご本人の同意なく第三者に提供することございません。

協同総研からの

お知らせ

法制化が目前に迫る中、協同総研は発信力強化に取り組んでいます。
ホームページには様々な情報を掲載しているかと思っております。



ホームページ リニューアル！！

デザインを刷新し、実践者や研究者が新しい研究テーマに出会えるように、「協同の発見誌」の特集テーマをキーワード別に探せるよう作成しました。

「協同の発見」のページからは、日本の論文サイトである、CiNiiでの詳細検索も行えるようにし、使いやすいホームページを目指しました。

お知らせも頻繁に更新中ですので、ぜひご覧ください。
情報提供もどしどしお待ちしております！

こちらのQRコードからご覧ください！→



「協同」を推進し、未来を拓く。

一般社団法人 協同総合研究所 Japan Institute of Co-operative Research

協同の発見

170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3池袋ISPタマビル7F T 03-6907-8033 F 03-6907-8034

HP <https://jicr.org/> Mail kyodoken@roukyou.gr.jp お問い合わせやご意見等ございましたら、お気軽にご連絡ください。